

(社)地盤工学会 室内試験規格・基準委員会
「WG4 力学特性(仮称;変形・強度) 第1回 議事録」

日時	平成19年6月19日(火) 10:00～12:00			場所	地盤工学会会議室
グループリーダー	龍岡文夫	○	幹事	畠山 正則	○
幹事	仙頭 紀明	○	幹事	上原真一	×
メンバー	阿部廣史	×	メンバー	梅崎健夫	○
メンバー	大島昭彦	○	メンバー	岡田哲実	-
メンバー	小高猛司	○	メンバー	佐野郁雄	○
メンバー	渋谷 啓	×	メンバー	清水正喜	○
メンバー	高橋 学	-	メンバー	土田 孝	○
メンバー	永瀬英生	×	メンバー	早野公敏	-
メンバー	山下 聡	○	メンバー	山田真一	○
メンバー	吉嶺充俊	×			

○:出席 ×:欠席 :未定 -:欠席

■ 配布資料:

- 資料- WG4-1-1 WG4 力学特性(仮称;変形・強度試験)(土と岩)名簿
- 資料- WG4-1-2 平成19年度 第1回グループリーダー説明会 議事録(2007/04/12)
- 資料- WG4-1-3 平成19年度 第1回室内試験規格・基準委員会 議事録(2007/05/25)
- 資料- WG4-1-4 土質試験関係 規格・基準一覧表
- 資料- WG4-1-5 WG4 が担当する規格・基準と担当候補一覧
- 資料- WG4-1-6 WG4 が担当する目次案
- 資料- WG4-1-7 赤本の改訂作業に関する編集工程
- 資料- WG4-1-8 平成19年度基準部関係委員会予算案
- 資料- WG4-1-9 第42回地盤工学研究発表会 開催期間中の会議予定状況
- 資料- WG4-1-10 不飽和土の三軸圧縮試験の検討結果(阿部委員)
- 資料- WG4-1-11 地盤条件の設定(港湾港湾施設の技術上の基準)(土田委員)
- 資料- WG4-1-12 赤本(土質試験の方法と解説)に対する会員からの質問(WG4に関する内容の抜粋)

■ 議 事:

1. 自己紹介および名簿の確認
2. 活動趣旨説明
3. 赤本改訂に関する方針とスケジュールの説明
4. 分担項目に関する意見
 - ・ 規格(または基準)の見直しの有無の検討結果報告
 - ・ 解説執筆メンバーの推薦
5. その他

■ 議事録:

1. 自己紹介および名簿の確認

- 名簿に誤りがある場合は畠山幹事長に連絡する。

2. 活動趣旨説明

- 土と岩の試験方法を統一的に論じる。
- 赤本は平成21年10月に出版され、その後は5年単位で改訂される。
- 出版時期が確定しているため編集工程を遵守する。特に規格・基準を大幅に見直す際は正式な改訂手続きが必要なため工程に余裕がないことに留意する必要がある。
- 岩は基準・解説ができて間もないため新たに発生する作業量は少ない。

3. 赤本改訂に関する方針とスケジュールの説明

- 解説執筆についての原稿料は支払わない方針である。
- 誤植程度の修正は問題ないが、文言を変える等の修正が発生した場合は正式な改正手続きを取る必要がある。
- WGの担当する範囲に「土質試験機用力計基準(JGS 0004-2000)」と「力学試験のための乱さない粘性土試料の取り扱い方法(JGS 0102-2000)」も含む。
- 「今回の改訂ではJGS書式のJIS書式化は可能な範囲で行う」との説明に質疑があり、改訂が無い場合はJGSそのままでもいいのか、改訂がある場合はJIS書式にすべきかについて親委員会に見解を求めることになった。
- 赤本の書式がB5からA4に変更となった。1ページあたりの文字数は約2割増しとなる。
- 赤本改訂後のできるだけ早い時期に「土質試験 - 基本と手引き-」が出版される。この中には岩関係は含まない。
- 今年度の活動予算は50万円である。(一般会計と刊行事業特別会計の合計)
- 次回ワーキング会は7月5日 10:30～12:00 地盤工学会名古屋大会会場で行う。
- 同会場は9時から利用可能なので、会議開催前に使用可能である。

4. 分担項目に関する意見

資料 4-1-5 をもとに担当基準とメンバーを確認した。

(一軸試験)

- 改訂の必要はない。解説執筆メンバーは清水委員の他に軟弱土、地盤改良関連で一軸試験をよく利用している委員を各1名追加する。メンバーの選定は清水委員に一任する。

(三軸試験)

- 取りまとめ役は土田委員となった。
- 解説執筆のための追加メンバーとして福田氏(北大)、川口氏(函館高専)の名前が挙がった。実務の観点からの解説も必要との指摘もあった。これらを踏まえて次回(7/5)までに解説執筆メンバーを調整する。
- 「新しい港湾基準の地盤条件の設定(資料 4-1-11)」について説明があり、不攪乱三軸試験が今後実務で利用される機会が増えそうなこと、 $\overline{CU}$ 試験のB値の規定について議論があった。

- 新しい設計の方法・考え方は「評価と利用」の項で解説してはどうかとの指摘があった。
- ISO 基準との整合がとれているか調べる必要があるとの指摘があった。

(不飽和三軸)

- 阿部委員と西村氏(足利工大)で担当する。
- 基準の改訂は小幅にとどめたい。

(粗粒土)

- 山田委員と小高委員で担当する。
- 改訂が必要かどうか・解説執筆者の補充が必要かは7月5日に最終的に報告する。

(ねじり・繰返しせん断試験)

- 取りまとめ役は山下委員となった。
- 山下委員がねじりせん断試験の解説執筆者に中田氏(山口大)と福田氏(北大)を推薦した。
- 中空ねじりせん断試験機を用いた液状化試験について基準化の要望があった。ただし今回の赤本改訂は編集工程が厳しいので事実上は無理である。
- 実務で繰返し試験をよく使っている方に解説執筆をお願いする。(畠山委員と山田委員で相談の上、適任者を紹介する)
- 不飽和土の液状化試験について解説の要望があった。
- 乱さない砂質土試料(凍結試料を含む)の試料作成・設置についても解説があればよいとの要望があった。

(一面せん断)

- 取りまとめ役は大島委員となった。
- 実務で一面せん断試験をよく実施している方に解説執筆に加わっていただくとよい。
- 試験が広く普及するようにとの観点から発注者サイド(例えば土研や港研)の方にも加わってもらえるか検討する。

(基準化されていないせん断試験)

- 畠山幹事長が取りまとめをする。
- 解説執筆者の適任がいれば畠山幹事長に連絡する。
- 不飽和土の繰返し試験, 超高圧三軸試験, 温度を制御したせん断試験が話題に上がった。

5. その他

- 執筆者の重複は許すものとする。
- 「基準化されていないせん断試験」は試験法に対してあまり使われていないとの否定的なイメージを与える可能性もあるので、他の編の呼び方も参考にして適当な章のタイトルを考える。

次回グループ会議

日時: 7月5日(木) 10:30 ~ 12:00

場所: 名古屋国際会議場 1号館4階143号室

議題: 基準・規格の改訂の有無(最終確認)

解説執筆メンバーの確認

文責 仙頭紀明